

**院内評価**  
**高まる薬剤師への**  
**近畿中央病院**  
**(兵庫県伊丹市)**

病棟業務、癌化学療法、高カロリー輸液調製、TDM(薬物血中モニタリング)、治験管理、遺伝子検査など、多種多様な業務に薬剤師が関わっている近畿中央病院の薬剤部。数々のチーム医療にも薬剤師が参画し、医療の質向上にも貢献しており、院内からは薬剤師の仕事ぶりを評価する声は高い。



抗癌剤の混注作業

**基準超える薬剤師を配置**

同院は15診療科、453床を持つ阪神地区の基幹病院。薬剤部には現在、18人の薬剤師が在籍している。病院薬剤師の員数規定では11人。公立学校共済組合独自の上乗せで3人プラスされ、本来なら14人が基準となるところだが、薬剤師の業務内容が院内で評価され、増員されている。薬剤部長の鈴木芳郎氏は、さらなる増員を求めており、新規業務へ積極的に取り組む構えだ。

薬剤部にこうした積極的な展開が目立つようになったのは、院外処方発行を始めた2002年から。それ以前は外来調剤に追われる日々で、病棟業務や高カロリー輸液の混注、TDMなど多方面に業務を広げてはいたものの、入院患者への業務に軸足を置いていなかった。院外処方せんの発行を機に、業務を入院患者重視の方向へ転換したのである。

まず、病棟担当薬剤師の仕事充実させた。薬剤師の視点から薬の適正使用を厳しくチェックし、病棟である程度の時間を過ごしている。カルテを見て検査データをチェックしながら、薬の効き目や副作用が出ていないかを調べたり、ベットサイドに出向いて、患者に対して服用法など薬の説明を行っている。

TDMでは、かつては薬剤部内で血中濃度の測定も行っていたが、清潔区域である薬剤部に血液を持ち込むのは好ましくないとの判

**医療チームでも**  
**前向きに活動**

断から、測定試験室を別に構えている。しかし最近では試薬のコスト高などにより、抗不整脈薬を除いては、測定業務を院内検査部や院外の検査機関に依頼している。薬剤師は検査結果に基づいて解析を行い、コメントを付けて医師に返却する。将来的には、全て解析業務に特化していく考えである。

抗癌剤の混注業務にも、薬剤師が積極的に関わっている。外来患者に対しては外来化学療法室の一角に安全キャビネットを設置し、ガウンを着た薬剤師が、患者の目の前で抗癌剤を混注する。抗癌剤の払い出しにも最新の注意が払われており、薬剤部内で三重監査を実施するほどの熱の入れようだ。

入院患者の混注業務に関しても、ナースステーションの一角で、看護師等が無防備な状態で作業することが、安全性の面から問題視されている。また、看護師は異動が多だけに、不慣れた人が混注に携わるケースも少なくない。同院でも薬剤部が入院患者の混注作業に取り組むべく、病院幹部に働きかけ、来年度からスタートさせる予定だという。

医療事故の半分以上は、薬が絡むとされるため、事故防止に薬剤師が関わるべきだという認識から、薬剤部がゼネラルセーフティマネージャーを担当。院内のインシデ

ントレポート収集や事故防止対策の検討にも関わり、院内に医療事故防止の啓発を呼びかけている。

治験にも積極的。「治験が行える病院でなければ、医療の質も向上しない」という考えの下、薬剤部も治験実施体制を強化し、薬剤師3人がCRC(治験コーディネーター)に取り組んでいる。院外からもCRCを受け入れ、院内と院外のCRCが連携し、質の高い治験業務が軌道に乗りつつある。

**遺伝子診療の一翼も担う**

一方、同院には「遺伝子診療センター」という一般病院では珍しい施設がある。個人の遺伝子情報に基づいて、病気の診断、治療、予防を行うもので、03年4月に開設された。同じ薬でも効く人と効かない人、副作用の出やすい人がいて、それには薬物代謝酵素の遺伝子多形が関与していると指摘されている。そこで予め遺伝子検査を行い、患者個人の状況に応じた薬の選択につなげようと研究を進めており、個別薬物療法の観点から薬剤師も配属されている。

同院はチーム医療も活発。クリティカルパス、感染、褥創、NSTなど様々なチームが機能している。昨年の病院長表彰には4人が選ばれたが、うち1人はNST、緩和医療のチームに参画する薬剤師であり、またチーム(団体)でも薬剤師がすべてに関わっている治験、褥創、感染、遺伝子の各チームが表彰された。「薬剤師がいないとチームが成り立たない」という院内の声も。鈴木氏は、「個人がチーム内で頑張っている証拠。チーム医療も含め、さらに病院に貢献できる質の高い業務を目指していきたい」と意欲満々だ。



散剤の調剤

**職場探訪** <病院薬局>

患者様から信頼され、必要とされる薬剤師を目指して

関東・近畿・中国・四国地区で  
 保険薬局を展開



ファーマシィが追求するのは地域社会に必要とされる薬局。

原点は必要とされること。そのために、患者様に信頼され、求められる薬剤師の育成に取り組んでいます。



保険調剤薬局  
**株式会社 ファーマシィ**

本社所在地：〒720-0825 広島県福山市沖野上町4-23-27 TEL 084-931-0160  
 東京オフィス：〒153-0062 東京都目黒区三田1-12-24 MT3ビル 3F  
 採用担当連絡先：採用フリーダイヤル 0120-314-868 人事課 井上  
 ホームページ：http://www.pharmacy-net.co.jp

